

CONCIERGE

by Mochimaru shokuhin Co.,Ltd. 28/Feb/2022/vol.675



ユキノシタ（徳島県産） Strawberry Geranium

日本では昔から天麩羅、和え物や酢のもの、炒め物汁の実、おひたしにと、サツと火を通して、様々に使われている野草です。味に癖がなく、それはまるで山菜にも似た雰囲気を感じる食材で、日本料理で薄く衣をつけて揚げられた美しい姿でも知られております。写真の上勝（徳島県）から届くものは小さな可愛い「ユキノシタ」です。常緑の多年草で名前の由来は、小さく咲く白い花が雪虫に譬えられその下に緑の葉が敷かれている様だからとか、雪の下でも青々とした葉があるから、あるいは葉の白い模様が雪のように見えるなど、諸説あるようです。中国では虎耳草（こじそう）ともいうらしく、その形と模様がまるで虎の耳の様だという面白い説もあり、古くから世界各地で様々な名前と呼ばれていることから、身近に親しまれている植物だということがわかります。日本では、「ユキノシタ」の花は茶道の茶花としても良く使われています。昔から民間薬としても親しまれ、家の庭の傍らには植えられていることの多い草でもありました。葉のしぼり汁にはポリフェノールが多く含まれているために、風邪薬として、そして消炎効果のある塗り薬としても使われていた経緯も領けます。「ユキノシタ」という風流な名前にも、何等かの力強さを感じられるのはそんな背景もあるからなのかもしれません。